

山梨大学医学部附属病院 [地域医療連携だより]

パートナー

2024

vol.20

令和6年12月発行



[特集] 診療科・部門のご紹介
乳腺・内分泌外科
材料部
糖尿病・内分泌内科
病院経営管理部

デジタルマンモグラフィ装置

山梨大学医学部附属病院 診療科・部門のご紹介

乳腺・ 内分泌外科

Breast and Endocrine Surgery

いまや日本人女性の9人に1人が乳がん罹患するとされ、山梨県内においても患者さんの数は年々増加傾向にあります。乳がんは、サブタイプや病期によって治療法の選択肢が多岐にわたり、患者さんの頭を悩ませるケースが多く見受けられます。

当院の乳腺・内分泌外科（第一外科）では、多様化・複雑化する乳がん治療に対して、がん相談支援センターと連携し、多職種による迅速でわかりやすい情報提供に取り組んでいます。また、ここ数年、乳がん領域における新規治療法の発展が目まぐるしく進んでいますが、速やかに実施できる体制を整えています。

手術療法については、乳がんに対するラジオ波焼灼療法を県内最速で導入し、乳房再建術とあわせて乳がんの根治と乳房の整容性を考慮した治療法の提供が可能となりました。薬物療法については、従来の内分泌療法・化学療法に加え、新たな分子標的治療薬や免疫療法を含めたレジメン開発が進み、治療成績も向上しています。

一方、新治療薬の増加に伴い、これまでなかった副作用症状が問題となるケースがあり、多診療科・多職種で連携し、迅速な対応に努めています。

さらに、遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）が疑われる患者さんを対象とした「BRCA遺伝子検査」を積極的にを行い、HBOCと診断された方には、遺伝カウンセリングや予防切除術を実施しています。

今後は地域の先生方との連携体制をより強化し、安心して患者さんをご紹介いただけるよう努めてまいります。今後とも乳腺・内分泌外科をよろしくお願いいたします。



材料部

Supply Center

材料部は、病院中央診療部門の一つで、院内で使用される医療用器材を安全に供給することを主な業務として、診療を円滑に進めることに貢献しています。器材の洗浄や滅菌を一括して管理するとともに、消耗品の選定と管理を行い、過不足なく安定した供給に努めています。

当部は、高圧蒸気滅菌器、プラズマ滅菌器、ホルマリンガス滅菌器などを備えています。滅菌方法は、高温滅菌と低温滅菌に分かれ、高温滅菌は高圧蒸気滅菌器を用いて行い、低温滅菌は化学的媒介を使用します。洗浄器には、ウォッシャー・ディスインフェクター、高水

準洗浄器、減圧沸騰式洗浄器、超音波洗浄器、カート洗浄器があり、それぞれの器材の特性に応じた洗浄と滅菌を行います。さらに、洗浄および滅菌の質を保証するため、工程のモニタリングを実施し、ガイドラインで定められた基準を満たすよう取り組んでいます。また、手術室とつながった回転型収納庫や自動立体倉庫を設置し、手術器材の保管場所を集約して効率的に運用しています。洗浄・滅菌の専門部署として、各診療科や手術室、外来や病棟と連携し、安全で安心な医療の提供を支援しています。



自動洗浄・除染・乾燥装置



自動立体倉庫

糖尿病・ 内分泌内科

Diabetes and Endocrinology

当科の診療の中心は糖尿病であり、インスリンなどの注射薬を用いる専門的治療を担当しています。糖尿病の入院はクリニックパスを活用し、患者さん一人ひとりのライフスタイルに応じた安全かつ効率的な診療を提供しています。1型糖尿病に対しては最新のハイブリッド・クローズド・ループ搭載インスリンポンプや複数種類の持続グルコースモニタリング機器を導入し、患者さんのニーズに合わせたきめ細かい治療法の選択が可能です。今年度は肥満症診療もさらに充実させ、新規薬剤「ウゴービ®」(セマグルチド)による減量治療や消化器外科との連携による高度肥満症へのスリーブ胃切除術の導入を進めています。

当科の対象疾患の多くは慢性疾患であり、治療経過が安定した患者さんは積極的にかかりつけ医療機関への逆紹介を推進しています。逆紹介後の診療でご不明な点は、専用の診療情報提供書記載の電子フォームからのご相談を承って

います。また、糖尿病性ケトアシドーシスなどの緊急症例には万全の体制を構築していますので、緊急を要する患者さんがいらっしゃいましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

山梨県は人口当たりの糖尿病患者数が全国平均より多く、糖尿病を原因とする透析導入と失明の頻度も高い県です。内分泌疾患には希少疾患も多く、十分な経験に基づいた標準的な専門診療が求められています。今後も県内の先生方との連携を密にし、内分泌・代謝疾患の専門診療の充実を図ってまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。



病院経営 管理部

Department
of
Hospital Administration

病院経営管理部は、厳しい医療経営環境の中で、持続可能な経営基盤を確保し、地域において、質の高い医療を提供できる体制を支えるため、経営戦略の立案・推進を担っています。昨今、医療経営は深刻な課題に直面しています。2024年10月4日に行われた国立大学病院長会議の記者会見で「2024年度国立大学病院収支見込み」が発表され、42大学病院のうち32施設が総額260億円の赤字になる見通しであることが報告されました。原因としては、医薬品や医療材料の費用増加に加え、物価やエネルギー価格の高騰、医師の働き方改革や診療報酬改定に伴う人件費の増加が挙げられ、特に人件費の増加は、108億円の診療報酬増収見込みに対し、343億円と、負担が大きくなっています。

こうした厳しい状況に対応すべく、病院の経営戦略や計画を策定し、各種委員会や関連部門との調整を通じて、病院全体の経営目標の達成に向けた支援を行っています。

加えて、日々の運営改善だけでなく、中長期的な視点に立った戦略を立案することで、地域医療の変化に対し、柔軟に対応し続けるための取り組みも推進しています。また、病院経営企画課や医事課、医療支援課などの事務部門と連携し、人材や医療機器、施設の整備、運営体制の最適化を図るとともに、地域における医療・介護連携の促進にも取り組んでいます。

これらの取り組みを通じて、地域の皆様に質の高い医療を提供し、高度急性期病院として、持続可能な医療提供体制の実現に努めてまいります。



セミナー・講演会等のお知らせ				対象：医療従事者
開催名	主 催	開催日	開催場所	お問合せ先 (内線番号)
第24回 山梨県小児医療セミナー	日本小児科学会 山梨地方会 他 共催	2025年1月21日	山梨大学医学部 臨床小講堂	内線 2322
第6回 Yamanashi Clinical Pharmacist Lecture ～臨床検査値に基づく最適な薬学的管理②～	山梨大学医学部附属病院 薬剤部 他 共催	2025年1月22日	オンライン 山梨大学医学部 臨床小講堂	内線 5308
第7回 Yamanashi Clinical Pharmacist Lecture ～臨床検査値に基づく最適な薬学的管理③～	山梨大学医学部附属病院 薬剤部 他 共催	2025年2月13日	オンライン 山梨大学医学部 臨床小講堂	内線 5308
第118回 日本泌尿器科学会山梨地方会	山梨大学医学部 泌尿器科学講座	2025年2月15日	オンライン シャトレゼ ホテル談露館	内線 2367
第74回 山梨大学医師会講座	山梨大学医師会、山梨県医師会 他 共催	2025年2月22日 【申込期限】 2025年2月14日	山梨県医師会館	内線 6160
山梨大学医師会生涯教育セミナー	山梨大学医師会、山梨県医師会	2025年2月22日 【申込期限】 2025年2月14日	山梨県医師会館	内線 6160
第31回 山梨緑内障研究会	山梨大学医学部 眼科学講座 他 共催	2025年2月27日	オンライン シャトレゼ ホテル談露館	内線 2372

※上記セミナー・講演会へのお問合せは TEL:055-273-1111 (代表) へお掛けのうえ、お問合せ先の内線番号をお伝えください。

学生有志企画 「第一回梨医群青花火大会」を 開催しました！

本学医学部医学科の学生有志団体「チーム花火」が、「当院小児病棟に入院する子どもたちに打ち上げ花火を見せたい」という思いからプロジェクトを立ち上げ、クラウドファンディングにより資金を募り、大学祭開催期間中の10月26日(土)に開催しました。

当日は天候にも恵まれ、小児病棟の子どもたちのみならず、観覧してくださった皆さまの心に残る花火大会であったと思います。開催にあたり、多くの皆さまのご支援、ご協力を賜りましたこと、心から感謝申し上げます。



病院運営基金に 対するご支援の お願い

当院では、令和5年の開院40周年を機に、寄附事業として「医学部附属病院運営基金」を設立しました。皆様からお寄せいただいた寄附金は、患者さんに安全で最適な医療を提供するとともに、人間性豊かな医療人の育成と、臨床医学の発展に活用いたします。

今後も山梨県における医療・医学の中核となる県内唯一の大学病院として、地域の皆様の健康を守ることに全力を尽くしてまいりますので、何卒、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

山梨大学医学部附属病院運営基金特設ページ
<https://kifu.med.yamanashi.ac.jp/page/unei1/>

【お問い合わせ先】
管理課 総務・予算・資産グループ
TEL: 055-273-9614
E-mail: kanrika-kifu@yamanashi.ac.jp

